

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
791	791	治山林道維持経費	01	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	06	06	農林業費
			02	02	林業費
			02	02	林業振興費
担当部課名		阿山支所 産業建設課	105	105	治山林道維持経費
作成者氏名	服部 伊久夫	連絡先	43-1544	09	治山林道維持経費
			細々目		

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
管内の林道及び林道利用者		森林保全に資する林道の維持管理に対して支援を行い森林環境を保全する。
本年度事業内容	林道滝谷線の交通確保のための維持修および受益者による林道補修事業への助成を行う。	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 (委託先:)	<input type="checkbox"/> 民間委託等
市内の類似施設		根拠法令・要綱等 森林法、伊賀市補助金等交付規則

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	86	856	855
委託料	31		
工事請負費		300	300
補助金		500	500
その他	55	56	55
合計(A+B)	806	1,576	1,575
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	806	1,576	1,575
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
維持修繕工事	箇所	1	3	3			
原材料購入	箇所	2	4	4			
小規模工事補助	回	0	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
機能保持されている延長	維持管理が適正に行われていれば通行機能が他も保たれる。	m	3200	3500	4000
			目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

阿山支所管内の開設済の林道については、森林環境の整備・育林等には不可欠の施設であるが、林業不況の今日、地元受益者だけの力のみでは適正な管理が行えず、森林環境の保全が図れない現状である。林道開設後の経年変化により、路面・路肩及び法面等の林道施設が損傷が激しくなり、維持管理に要する労力・経費が高むようになってきた。今後は、早目に維持管理を行うことにより維持管理経費の軽減を図る。

評価	必要性	4	林道は森林保全・林業にとっては必要不可欠な施設であり、その機能保全を行うことは重要である。そのための維持管理経費を確保することが森林保全に繋がる。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A